

# ケニア 廃棄物バイオリサイクル事業（PE出資）

## ナイロビのゴミをアブの力で昆虫飼料・有機肥料・バイオ炭に転換する循環型経済を推進

### 事業概要

ナイロビのスラムに設置されたトイレ及び商業施設（農場、市場等）から有機廃棄物を回収。回収した廃棄物を自社工場にてアメリカミズアブ（Black Soldier Fly：BSF）を活用して昆虫飼料・有機肥料・バイオ炭にリサイクルし、国内外の農家等に販売する。これにより、都市環境衛生及び農業生産性向上に寄与する。

### インパクト

#### 1.循環型経済（サーキュラーエコノミー）推進

ナイロビの廃棄物の約半分が不法投棄され、下水システムの各戸接続率は約12%に留まり、輸入依存型の肥料・飼料は小規模農家の負担である。出資先のSanergy社はこれら複数の社会課題に取り組む。

#### 2.食糧増産を可能とする昆虫飼料の製造

2050年までに90億人に達する人口を支えるためには現在の食糧生産を2倍にする必要があり、代替タンパク質源として昆虫の活用が注目されている。Sanergy社は回収した廃棄物を食べて育つBSFの幼虫を昆虫飼料として製造・販売。

#### 3. 他国の開発金融機関・民間金融機関と協調

Sanergy社は米国金融公社（USDFC）の支援で東アフリカ最大の昆虫飼料工場を建設済。インパクト・ESG志向のベンチャーキャピタル（VC）であるAXA IM Alts、Novastar Ventures、本邦VCのKepple Africa Ventures、フィンランドの開発金融機関Finnfundも投資参画。



Sanergy社のナイロビ工場外観



Sanergy社の昆虫飼料Kuazapro

